



各 位

平成23年5月27日

会 社 名 フジオーゼックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 吉川 健三
(コード番号 7299 東証第2部)
問 合 せ 先 常務取締役 服部 孝樹
(TEL 0537-35-5873)

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期の内部統制報告書において、内部統制に重要な欠陥がある旨を記載する予定ですので、お知らせいたします。

1. 重要な欠陥の内容等

当社は持分法適用関連会社である新韓バルブ工業株式会社(所在地:韓国)において、不適切な資金流用が行なわれたことにより、当期決算で持分法投資損失が発生いたしました。

当該損失は、新韓バルブ工業株式会社(以下新韓バルブ)の代表理事による不正融資によるものであり、同社代表理事の主導による不適切な資金流用について当社へ虚偽の報告がなされていたことが判明いたしました。これは、同社の全社的な内部統制において、理事会(取締役会)による代表理事への監視機能が不足していたこと、内部牽制が働く組織形態を構築できていなかった点で、同社の統制環境に不備があり、決算・財務プロセスの一部不備を招き、且つ当社の全社的な内部統制において、グループ会社管理体制(モニタリング機能)が十分に機能しなかったことにより発生したと認識しております。

2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

本件が平成23年3月に内部告発によって発覚した後、当社内に設置した社内調査チームによる調査を4月に掛けて行い、改善策立案が当事業年度末までに完了しなかったためであります。

3. 重要な欠陥の是正内容

[新韓バルブ工業株式会社に対する是正措置の内容]

管理監督機能の強化

- ・外部専門家等の活用による決算・財務プロセスの強化
- ・理事会による代表理事への監視強化と理事会議事録の原本管理の強化
- ・借入及び投資に関する決裁規程の再構築
- ・月次決算提出資料の早期入手と内容の確認
- ・内部監査の強化

当社は、内部統制の重要性を強く認識しており、当是正措置により体制の構築と強化を進めており、翌事業年度に、当是正措置の浸透を図り、適切な内部統制を整備・運用する方針であります。

以上